

定例記者会見（3月）

日 時：3月28日（月）14:00～
場 所：本庁 302会議室

■市政の動向

【市長発言】

- | | | |
|-------|------------------------|-------|
| No. 1 | 令和2年7月豪雨災害に係る検証報告書 | P. 1 |
| No. 2 | 八代市坂本町復興まちづくり計画策定 | P. 4 |
| No. 3 | 八代市デジタル化推進基本計画策定 | P. 8 |
| No. 4 | デジタル田園都市国家構想推進交付金の事業採択 | P. 11 |
| No. 5 | 本市へ進出する企業3社との合同立地協定締結式 | P. 16 |
| No. 6 | 会計業務の民間委託 | P. 19 |
| No. 7 | イヤーラウンドコースの開設 | P. 21 |

【資料のみ】

- | | | |
|--------|--------------------|-------|
| No. 8 | 新型コロナウイルスワクチン接種 | P. 26 |
| No. 9 | 八代市役所 組織の一部変更 | P. 27 |
| No. 10 | 市立博物館 令和4年度春季特別展覧会 | P. 30 |

令和2年7月豪雨災害に係る検証報告書 ～本検証を踏まえ災害対応力及び防災対策の強化を推進～

本市では、令和2年7月豪雨災害を受けて、発災当日から10月30日の避難所閉鎖まで、約4カ月間にわたり実施した避難支援、被害状況確認、初動対応、被災者支援及び避難所運営等の災害対応について検証を行うとともに、これらの教訓を踏まえ、現在実施中の改善策等についての進捗状況を整理した「令和2年7月豪雨に係る検証報告書」を取りまとめました。

本市では、この検証報告を踏まえ、地域防災計画や防災マニュアルへ反映させるとともに、これから起こり得る自然災害に備え災害対応力の向上や防災対策の強化を更に進めてまいります。

1. 背景・目的

令和2年7月豪雨災害では、球磨川の氾濫等によって住民の尊い命が奪われるとともに、公共施設や住居の水没、橋梁の崩落、道路の陥没、電力・通信等の公共インフラへの影響等、坂本地区を中心に甚大な被害をもたらしました。

本市では、当時を振り返り、住民の避難をはじめとする主要10項目について検証を行うことで、地域防災計画等へ反映させるとともに、今後起こり得る自然災害に備え、本市の災害対応力の強化や防災対策の強化に生かすため、本検証報告を取りまとめたものです。

2 内 容

第1章 検証の概要：検証の目的、方法

第2章 災害の振り返り：令和2年7月豪雨災害の概要、応急活動体制等の時系列のまとめ等

第3章 災害の検証：①住民の避難、②初動対応、③災害廃棄物の処理等、④被災者の生活の支援、⑤被災者への各種支援等、⑥被災者の住まいの確保、⑦他自治体からの応援職員、⑧社会基盤・公共土木施設等の復旧、⑨産業、教育分野における業務継続・災害対策、⑩災害対策を行うための庁内体制

*検証には、災害に対し「対応した点」「課題」「改善の方向性」及び「改善」の進捗状況を記載。

第4章 資料編：職員及び住民アンケート

問合せ 八代市危機管理課 担当：岩田・上村・入佐
TEL 0965-33-4112

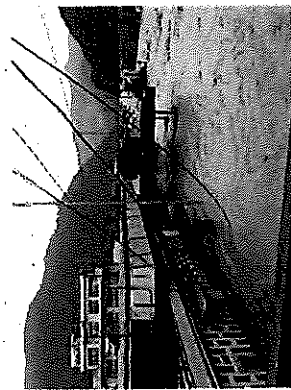
令和2年7月豪雨災害に係る検証報告書

概要

令和2年7月豪雨の教訓を残し、今後の災害対応等に生かすため、次の点について検証を実施。本日、市のHPで公表します。

- (1) 対応した点
- (2) 課題
- (3) 改善の方向性(改善の進捗状況含む)

※検証の対象期間：発災から4か月間



検証報告書の内容は、次のとおりです。

第1章 検証の概要

第2章 災害の振り返り

第3章 災害の検証

- | | | |
|------|-----------------|--|
| 第1節 | 住民の避難 | |
| 第2節 | 初動対応 | |
| 第3節 | 災害廃棄物の処理等 | |
| 第4節 | 被災者の生活支援 | |
| 第5節 | 被災者の各種支援 | |
| 第6節 | 被災者の住まいの確保 | |
| 第7節 | 他自治体からの応援職員の受入れ | |
| 第8節 | 社会基盤・公共土木施設等の復旧 | |
| 第9節 | 産業、教育分野における業務継続 | |
| 第10節 | 災害対応を行うための庁内体制 | |

第4章 資料編

具体的な記載例（対応した点、課題、改善の方向性）

住民の避難 -避難情報の提供-	初動対応 -安否確認-
<p>市ネットワークに障害が発生したため、県に対し避難指示等の代行発信を依頼</p>	<p>災害情報室設置後は、救助要請、安否情報を最優先に対応し早期の救助、安否確認を行った</p>
<p>防災行政無線を通して避難指示を発令したものの、各支所をつなぐ専用回線の障害やセンター施設の水没により防災行政無線の機能が喪失した。</p>	<p>道路の寸断による孤立地区の発生に加え、固定・携帯電話の寸断により、安否確認が困難であった</p>
<p>新たな「防災行政情報通信システム」の構築</p> <p>【進捗状況】 専用回線の障害や、施設の水没などの事象が起きた場合においても、職員のス마트フォン等の端末によって住民に避難指示等を発令できるような新たな防災行政情報通信システムの構築に取組み、昨年4月から運用を開始。</p>	<p>避難所や孤立地区発生時の安否確認に向けた固定・携帯電話に替わる通信手段の確保</p> <p>【進捗状況】 令和3年2月から、固定・携帯電話等に替わる安否確認システムとして準天頂衛星を活用したQ-ANPIの実証実験を開始 令和3年5月、衛星携帯電話を坂本町の8地区等に追加配備</p>

対応した点

課題

改善の方向性

八代市坂本町復興まちづくり計画 策定

～みんなで取り戻す 生き生き笑顔のさかもと～

坂本町の創造的復興に向け、より具体的な取組を示し、今後のまちの賑わいを創出するため、旧小学校8校区ごとの復興まちづくり計画や災害公営住宅、支所を中心とした生活サービス拠点の形成、避難先の確保や新たな防災拠点の整備を含む「坂本町復興まちづくり計画」を策定しました。

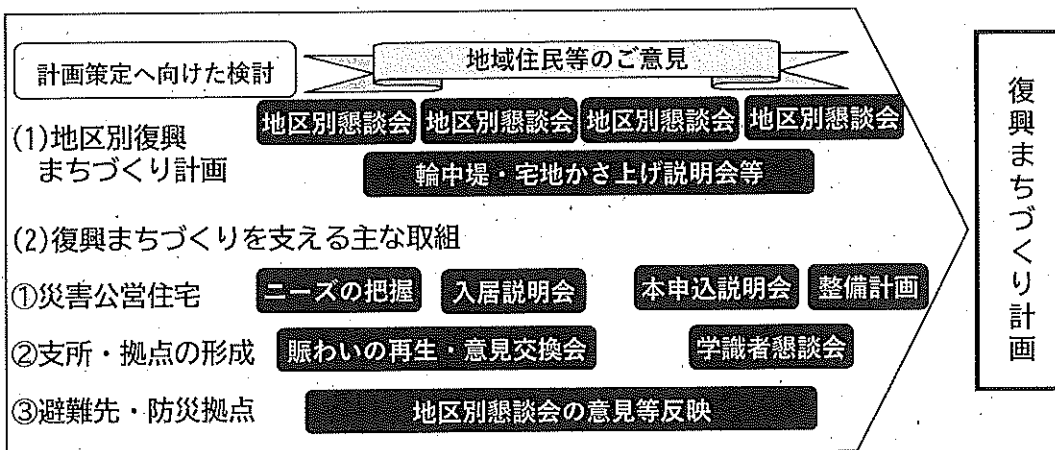
1. 背景・目的

本市では、令和2年7月豪雨で甚大な被害を受けた坂本町の「八代市坂本町復興計画」を策定し、復興に向けた取組を進めているところです。

今回、策定した復興まちづくり計画では、坂本町内8地区それぞれの個性豊かな復興まちづくりについて、より具体的な取組を示すことで、今後のまちの賑わいを創出できるように計画策定を行っています。

また、住み慣れた地域で暮らすための災害公営住宅の整備、支所を中心とした生活サービス拠点の形成、避難先の確保や新たな防災拠点も行ったものです。

2. 策定経緯



3. 内 容

計画の詳細は、市ホームページを参照ください。

問合せ 八代市復興推進課 まちづくり推進係 担当: 松本・中川
TEL 0965-33-5128

八代市坂本町復興まちづくり計画策定 ①

坂本町の創造的復興に向けた計画の体系イメージ



八代市
YABU
YABU SHI

八代市坂本町復興計画（令和3年）

みんなで取り戻す 生き生き笑顔のさかもと

ひとりも取り残さない
安心なまちづくり

次世代へつなぐ
安全なまちづくり

みんなで取り組む
持続可能なまちづくり

“くらし・コミュニティ”
の再生

地域のつながりを維持しながら、安全・安心・快適に暮らせる環境を整備し、住まいとくらしの再建や地域コミュニティの再生を図ります。

“産業・経済”
の再生

産業の再生を推進することして、雇用（なりわい）の維持・拡大や地域産業・地域経済の活性化、さらには、地域の生活を支える各種機能の再生・充実を図ります。

両輪

下支え

“社会基盤・防災”の再生

人口減少などに伴う地域課題にも対応した将来的にも安心して住み続けられる都市基盤の再生・整備を推進するとともに、国や県とも連携しながら、防災・減災対策を進めます。

下支え

一層の
具体化

地区別復興まちづくり計画

旧小学校8校区において復興へ向けた地域振興のアイディア等を盛り込んだ計画を策定します。

災害公営住宅の整備

住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、坂本町内に災害公営住宅を整備します。

坂本文所を中心とした
生活サービスポイントの形成

利便性の高いまちづくりを策定し、賑わいの再生を目指します。

避難先の確保や

新たな防災拠点の整備

身近な避難先の確保や、令和2年7月豪雨の経験から、坂本川の右岸・左岸それぞれに「防災拠点」を確保します。

八代市坂本町復興まちづくり計画策定 ②

◎ 計画の概要

八代市坂本町復興計画(令和3年2月策定)を基に、坂本町の復興をさらに加速させるため、より具体的な取組を示す「八代市坂本町復興まちづくり計画」を策定しました。

【主な内容】

- ・旧小学校8地区ごとの「復興まちづくり計画」
- ・災害公営住宅の整備
- ・坂本支所を中心とした生活サービス拠点の形成
- ・避難先の確保や新たな防災拠点の整備

八代市坂本町復興まちづくり計画策定 ③



地域や関係団体、行政等が一体となり、“復興まちづくり”を進めます。

八代市デジタル化推進基本計画策定

～令和4年度は防災、行政、医療、農業分野を重点的に推進～

本市では、「スマートシティやつしろ」の実現に向けて、ICT(情報通信技術)をはじめとするデジタル技術の活用による地域課題の解決、行政サービスの変革等を戦略的に実行していくため、「八代市デジタル化推進基本計画～デジタルでつながる未来都市 Move forward! 八代～」を策定しました。

なお、本計画には、デジタル施策の推進に当たっての現状と課題、方向性、重点取組、各分野の個別施策等を取りまとめており、計画期間は 2022 年度から 2025 年度までの4年間としています。

1. 背景・目的

我が国では、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少及び大都市への人口集中による地域の担い手不足、大規模自然災害の増加、さらに新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う社会経済活動の制限等、社会や経済に大きな影響を与えています。

このような中、政府は、デジタル技術の活用によって、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会の実現を目指し、行政手続きのオンライン化、テレワークの導入等、様々な取組を強力に推進されています。

他方、海岸部から山間部まで広範な地域を抱える本市においても、災害対応、医療・介護などの社会保障、公共インフラの維持、地方創生の推進など多種・多様な課題に対して、行政サービスの継続的な提供が求められています。

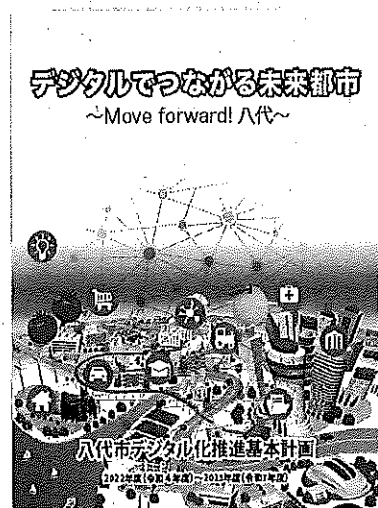
このような状況の下、本市では、地域課題の解決に向けて、ICTをはじめとする先端技術を市民生活のあらゆる場面で活用するとともに、行政手続きの高度化・効率化等、さらに令和2年7月豪雨災害の検証を踏まえ、大胆な変革と新たな価値の創造を進めるため、「八代市デジタル化推進基本計画」を策定しました。

(概要及び重点取組は別紙1, 2のとおり)

2. 内容

9分野42施策について幅広く記載するとともに、喫緊の課題に対し、短期かつ集中的に取り組むものとして重点取組を4つ掲げています。

問合せ 八代市デジタル推進課 行革・デジタル推進係
担当: 坂本・松田
TEL 0965-33-4103

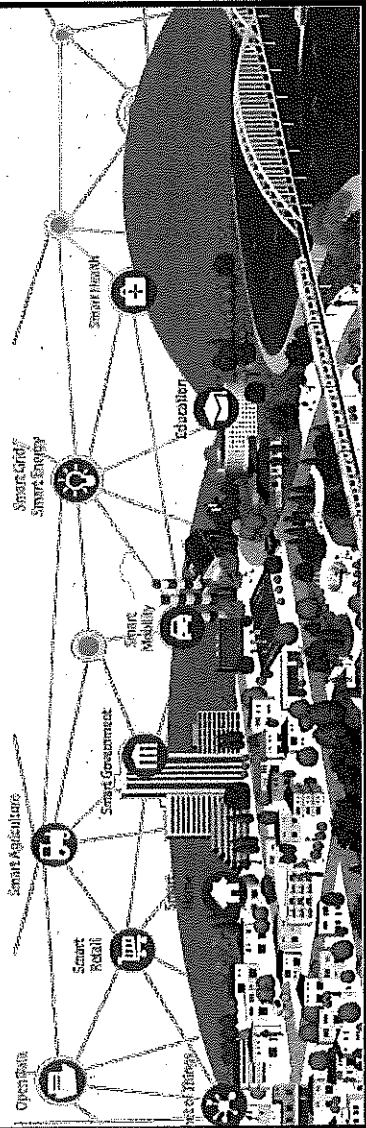


「八代市デジタル化推進基本計画」を策定

デジタル施策の推進に当たっての現状と課題、方向性、重点取組、各分野の個別施策等を掲載

目指すまちの姿

デジタルでつながる未来都市
 ~Move forward! 八代~



スローガン

ウェルビーイングライフの実現

Wellbeing

※ウェルビーイング＝人が健康で幸せに暮らす状態

誰でもデジタルを
 使えるまち

いつでもどこでも
 つながるまち

いろんな人が
 新しいサービスを
 つくりだすまち



SUSTAINABLE
 DEVELOPMENT
GOALS



八代市
 YASHIRO

八代市デジタル化推進基本計画に掲げる重点取組

防災

大規模災害時等における情報収集・提供体制の再構築及び避難所運営の効率化

課題：「令和2年7月豪雨災害に係る検証報告書」より

- ◆ 地域ごとの避難情報では、全ての市民の避難行動につながっていない
- ◆ 長期停電等による通信サービスが停止すると災対本部と被災地との長期間連絡が取れない
- ◆ 災害対策本部内での迅速な情報共有に課題
- ◆ 避難所の長期化などに対応できる避難所運営手法の煩雑さ

対応策：スマート防災（避難支援、情報共有、避難所運営）の取組を強化

- 住民の自発的な避難を後押しする「デジタル避難スイッチ」の導入
- 準天頂衛星等を活用した安否確認システムの導入
- 災害情報共有システムの構築
- 顔認証等を活用した「スマート避難所」の導入

行政(市民サービス)

スマートフォンやマイナンバーカードを活用したオンライン申請の拡大、公共施設オンライン予約等、デジタル市役所の推進

課題：「自治体DX推進計画」、新型コロナウイルス感染症への対応

- ◆ 自治体DX推進計画で定められた重点取組事項「自治体の行政手続のオンライン化」への対応
- ◆ 新型コロナウイルス拡大を契機とした諸手続におけるデジタル化対応の遅れの顕在化
- ◆ 市民をはじめ観光客やビジネス客に対するインターネット環境整備の遅れ

対応策：「デジタル市役所」（マイナンバーカード活用、オンライン化、キャッシュレス化）の実現に向けた取組みを推進

- マイナンバーカードを活用したオンライン申請システムの導入
- 公共施設のオンライン予約管理システムの導入
- 各種税や保険料等の支払へのキャッシュレス決済の拡充
- 公共施設等へのWi-Fi整備の促進

医療・保健・福祉

デジタル技術を活用した医療サービスの提供

課題：「坂本復興計画」、「八代市坂本町復興まちづくり計画」より

- ◆ 令和2年7月豪雨による無医地区同様の状況の解消（医療提供体制の確保）に向けた取組
- ◆ 中山間地の医療資源の確保策

対応策：デジタル技術の活用による医療提供

- デジタル技術等の活用によるスマート医療体制の確立（デジタル医療MaaS推進事業）

農業

稼げる農業の構築及び担い手確保に向けたスマート農業推進プロジェクトの実施

課題：「八代市の農業（令和3年版）」より

- ◆ 農業従事者の担い手確保・育成
- ◆ 農産物の安定的な提供や生産技術と供給体制の確立
- ◆ 収益拡大による農業従事者の所得向上

対応策：農業従事者との共創によるスマート農業プロジェクトを実施

- 稼げる農業の構築及び担い手確保に向けたスマート農業推進プロジェクト

デジタル田園都市国家構想推進交付金の事業採択 ～インフラ復旧情報のデジタルマップ化及び地域の魅力発信の3事業採択～

本市では、デジタルを活用した、地域課題解決や魅力向上の実現に向けて意欲ある地域による自主的な地域を国が支援する「デジタル田園都市国家構想推進交付金」の事業として、本市の下記3事業が採択されました。

本採択を受け、この3事業を令和4年度事業として実施することになり、災害復興へのデジタル技術の活用、サテライトオフィスに進出する企業と地元企業との連携等を通じて、「スマートシティやつしろ」の実現に向けた取組を推進してまいります。

採択事業

(1)被災地等におけるインフラ復旧情報等のデジタルマップ化(デジタル実装タイプ(※1))

【概要】令和2年7月豪雨災害等による、国道、県道、市道等の公共インフラの復旧状況等をリアルタイムでデジタルマップ化し、市民へ情報提供を行うことで、利便性の向上、交通渋滞の回避及び観光客の誘客推進等につなげるもの。

事業費：3,100万円 採択額：1,550万円

(2)地域商社による地域の魅力発信事業及びサテライトオフィス等整備事業

(テレワークタイプ(※2))

①地域商社による地域の魅力発信事業

【概要】誘致企業と進出企業によって設立される地域商社、地元企業・団体、市との連携により相乗効果を発揮させ、地域や農産物の魅力発信を強化することで、関係人口の拡大等、地域課題解決に向けた官民協働モデルを構築するもの。

事業費：2,991万2千円 採択額：2,243万3千円

②サテライトオフィス等整備事業

【概要】旧宮地東小学校の空きスペースをサテライトオフィス、ワーキングスペース、簡易宿泊施設として整備し、自然を満喫できるロケーションを提供することで、若い世代のICT人材の確保及び移住・定住の促進を目指すもの。

事業費：5,926万1千円 採択額：4,444万5千円

※1 **デジタル実装タイプ** デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上に向けて、他の地域で既に確立されている優良なモデル等を活用して迅速な横展開を行う事業を支援するもの。

※2 **テレワークタイプ** サテライトオフィス等の施設整備・運営・利用促進等の取組及びサテライトオフィス等に進出する企業と地元企業等が連携して行う地域活性化に資する取組を支援するもの。

問合せ 八代市企画政策課 政策係

担当:岩田・土田

TEL 0965-33-4104

デジタル田園都市国家構想推進交付金の事業採択

全国で504団体、816件の事業が採択

八代市の採択事業

被災地等における
インフラ復旧情報等のデジタルマップ化

事業費3,100万円

採択額1,550万円

地域商社による地域の魅力発信事業

事業費2,991万2千円

採択額2,243万3千円

サテライトオフィス等整備事業

事業費5,926万1千円

採択額4,44万5千円

被災地等におけるインフラ復旧情報のデジタルマップ化

公共インフラ情報提供システム

デジタル田園都市国家構想推進交付金(デジタル実装TYPE1)

- 令和2年7月豪雨災害からの創造的復興に向けて、国道、県道、市道等の復旧工事が進められているものの、今もなお不通区間があり、地域住民の日常生活等に不便を来している状況。
- これらの道路の復旧状況に加え、球磨川の堤防整備等、公共インフラ全体の復旧の進捗状況が住民に伝わりにくい状況。

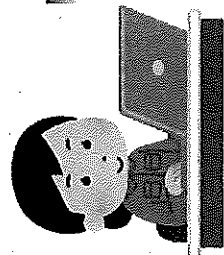
対応策

- 道路の復旧工事のほか河川改修など公共インフラの全体の復旧状況をリアルタイムでデジタルマップ化するとともに、進捗状況などをダッシュボード化し、市民へ情報提供する。
- 発災時には、道路不通箇所、交通規制等の情報発信を行う。

【事業概要及びイメージ図】

- ・国道、県道及び市道等の復旧工事の状況をシステム入力し、進捗状況をリアルタイムで更新、デジタルマップ化する。
- ・市民がいつでもどこからでも復旧工事の状況や通行規制情報を確認できるようにする。

工事情報の入力

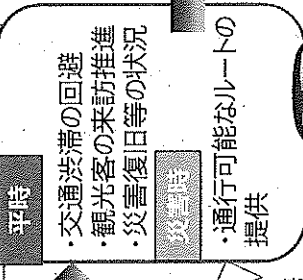


【八代市など】
工事発注課
契約検査課 など

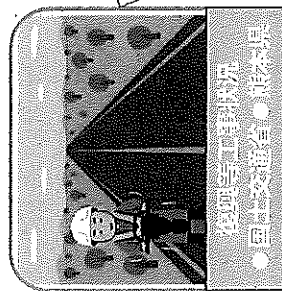


復旧工事情報
データベース

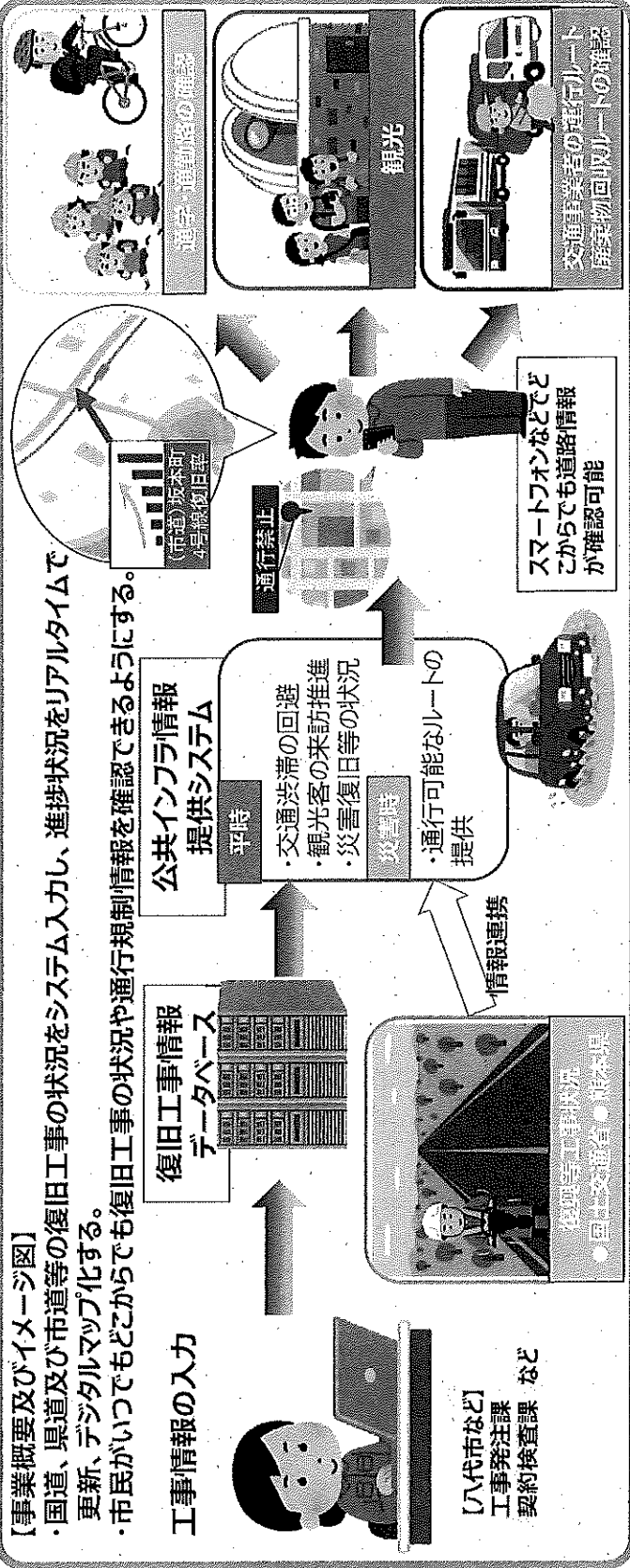
公共インフラ情報
提供システム



情報連携



復興工事の状況
● 復興庁
● 国土交通省
● 熊本県



地域商社による地域の魅力発信事業

地域商社支援、マーケティング、販路拡大

課題

- 地元企業と進出企業との連携の希薄化
- 地域商社機能を持つ企業・団体が限られ、市全体としての事業効果が限定。

地域商社事業

[進出企業]

(株)SUPER MARKIT

劇団やタレントのグッズ制作、販売、デジタルマーケティング支援やアンサーピスの企画、運営を手掛ける。特産品の販路開拓についても愛媛や新潟の支援実績あり。

[進出企業]

Future 'I' Mark(株)

京都、大阪、東京に拠点を置く企業で、マーケティング支援を得意とする企業で、WEBプラットフォーム開発やコールセンターも手掛ける。京都市で唯一、Google社からクラウドソリューションパートナーとして認定。

[地元企業]

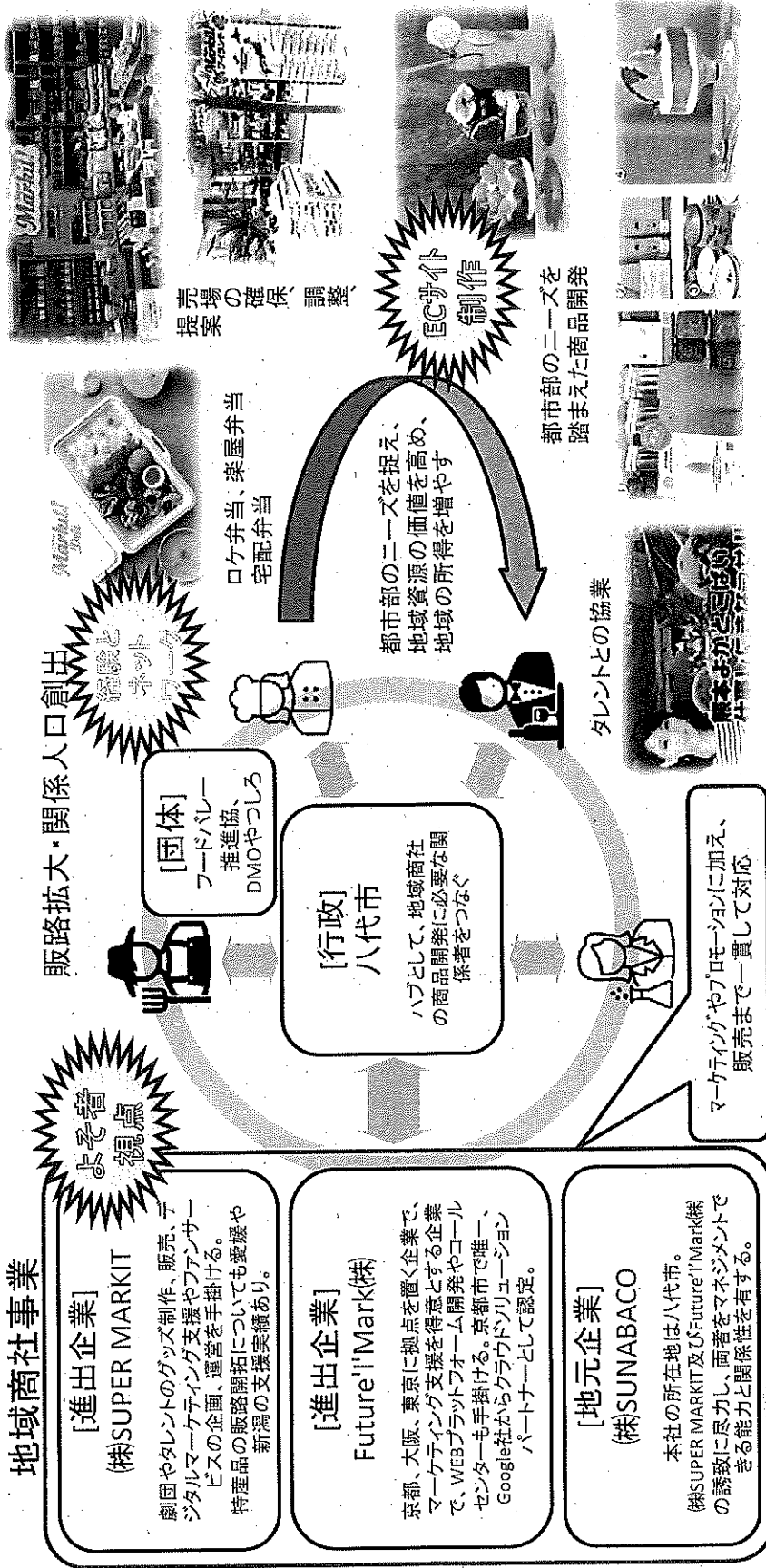
(株)SUNABACO

本社の所在地は八代市。
(株)SUPER MARKIT及びFuture 'I' Mark(株)の誘致に尽力し、両者をマネジメントできる能力と関係性を有する。

対応策

- あらたに立ち上げる地域商社を市が支援
- 地域商社、フードバレー推進協議会及びDMOやつしとの連携により相乗効果を発揮

デンタル田園都市国家構想推進交付金
(地方創生テレワークタイプ)進出企業定着・
地域活性化支援事業)



サテライトオフィス等整備事業

サテライトオフィス整備、誘致企業促進

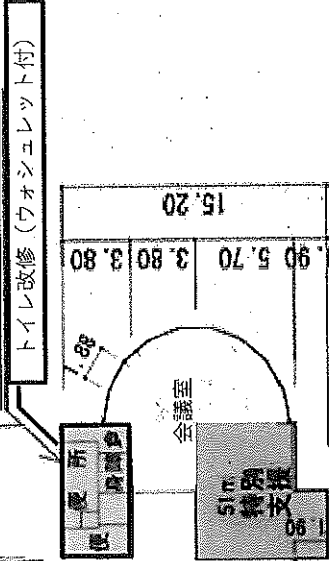
デジタル田園都市国家構想推進交付金
(地方創生テレワークタイプ:サテライトオフィス
等整備事業)

外観



ホール

15-3 便所棟



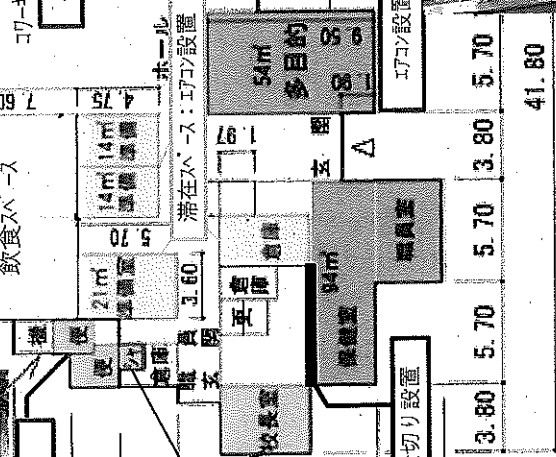
トイレ改修 (ウォッシュレット付)

- 全体
- 照明改修
- シーリングファン撤去
- サーキュレーター設置
- 非常用照明設置
- 不要物の撤去
- 屋内・屋外清掃

外観



隣接する川



コーキングスペース

飲食スペース

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

仕切り設置

浴室・シャワー改修

駐輪場

待合室

多目的室

サテライトオフィス

会議室

研修室

職員室

地方創生推進交付金の事業採択

全国の自治体が自主的・主体的に取り組む事業の中で、先導的なもの及び地方創生に資するものを国が支援する「地方創生推進交付金」の交付対象として、本市では新規3事業を含む計5事業が採択されました。

これらの事業を着実に実施することにより、「八代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる地域課題の解決や関係人口の創出につなげるとともに、「スマートシティやつしろ」の実現に向けた取組を推進してまいります。

採択事業

(1)アフターコロナを見据えたアウトドアツーリズム振興による関係人口の創出(新規)

【概要】アフターコロナを見据え、豊かな自然・歴史・文化を活かしたサイクリング、キャンプ等の体験型のアウトドアツーリズムを通して関係人口の創出を図るとともに観光地としてのブランド力を強化するための事業を展開するもの。

- ・総事業費(R4～6年度) 8,600万円
- ・交付対象事業費(R4年度) 1,000万円
- ・採択額(R4年度) 500万円

(2)スマート農業技術の導入を軸とした担い手不足の解消と農業所得の向上(新規)

【概要】担い手の確保及び農業従事者の収益力向上のため、農作業へのスマート農業技術の導入に向けた調査・研究事業及びモデル地区を対象に実証事業等を実施するもの。

- ・総事業費(R4～6年度) 4,949万円
- ・交付対象事業費(R4年度) 1,193万円
- ・採択額(R4年度) 597万円

(3)デジタル医療 MaaS 推進事業(新規)

【概要】令和2年7月豪雨災害により、無医地区状態となった坂本町において、移動診療車や遠隔医療機器を導入し、モバイルクリニックを実施するもの。

- ・総事業費(R4～6年度) 6,183万円
- ・交付対象事業費(R4年度) 1,617万円
- ・採択額(R4年度) 809万円

(4)DXによる八代圏域ツナガル推進事業(継続)

【概要】 八代圏域雇用促進センターを主体として、圏域(八代市、氷川町、芦北町)内企業の情報発信や学生のキャリア教育の推進等を行い、若い世代が定着・移住したくなる環境を創出することで、圏域内産業の活性化を目指すもの。

- ・総事業費(R3～5年度) 4,818万円
- ・交付対象事業費(R4年度) 1,647万円
- ・採択額(R4年度) 700万円

(5)ウェルネスフードを核とした商流拠点づくりプロジェクト(継続)

【概要】 ウェルネスフードを核とした国内外販路拡大のための商流拠点機能を道の駅等へ構築するとともに、海外販路拡大に向けたマーケット開拓支援やセールスプロモーションを実施するもの。

- ・総事業費(R3～5年度) 6,578万円
- ・交付対象事業費(R4年度) 2,198万円
- ・採択額(R4年度) 1,099万円

問合せ 八代市企画政策課 政策係 担当:岩田・土田
TEL 0965-33-4104



地方創生活推進交付金の事業採択

八代市の採択事業

新規

アフターコロナを見据えた
アウトドアツーリズム振興による関係人口の創出

スマート農業技術の導入を軸とした
担い手不足の解消と農業所得の向上

デジタル医療MaaS推進事業

総事業費 8,600万円
交付対象事業費 1,000万円

R4採択額 500万円

総事業費 4,949万円
交付対象事業費 1,193万円

R4採択額 597万円

総事業費 6,183万円
交付対象事業費 1,617万円

R4採択額 809万円

継続

DXによる八代圏域ツナガル推進事業

ウェルネスフードを核とした
商流拠点づくりプロジェクト

総事業費 4,818万円
交付対象事業費 1,647万円

R4採択額 700万円

総事業費 6,578万円
交付対象事業費 2,198万円

R4採択額 1,099万円

本市へ進出する企業3社との合同立地協定締結式

本町アーケード内のサテライトオフィスに地域商社事業等に取り組む IT 関連企業3社が進出

本市では、近年、求職者からの希望が多い情報通信関連企業の誘致に積極的に取り組んでいるところですが、この度、IT関連企業3社が本町アーケード内のサテライトオフィスに進出することで協議が整ったことから、当該3社合同で立地協定締結式を下記のとおり開催します。

なお、このうち2社は、以前誘致した株式会社 SUNABACO と共同で農産品などの販路拡大、プロモーション等の地域商社事業への参画を来年度に予定されています。

今後、本市では、デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、この新会社と連携した地域商社事業に取り組み、地域や農産品等の魅力発信を強化することで関係人口の拡大等、地域課題の解決に向けた官民協働モデルを構築します。(地域商社事業のイメージは別紙のとおり。)

1. 日 時 令和4年3月29日(火)午後2時00分から

2. 場 所 八代市役所 3階 302 会議室(八代市松江城町 1-25)

3. 出席者 (調印者)

株式会社 SUPER MARKIT 代表取締役 秋山 真哉 ※地域商社事業に参画

【事業概要:ブランディング支援事業 等】

Future l`Mark 株式会社 代表取締役 脇田 龍太郎 ※地域商社事業に参画

【事業概要:マーケティング支援事業 等】

株式会社 TRIART 代表取締役 今津 研太郎

【事業概要:IT ソリューション事業 等】

八代市 市長 中村 博生

(立会人)

熊本県 副知事 木村 敬

(施設管理者)

株式会社 SUNABACO 代表取締役 中村 良 ※地域商社事業に参画

【SUNABACO 八代を運営。進出3社と市とを仲介】

4. その他 調印式終了後、3社による記者会見を実施

本市に進出する企業3社との合同立地協定締結式

日時

令和4年3月29日（火）午後2時から

場所

本庁舎3階 302会議室

出席者

（調印者）株式会社 SUPER MARKET
Future 'I' Mark 株式会社
株式会社 TRIART
八代市

（立会人）熊本県
（施設管理者）株式会社SUNABACO

地域商社による地域の魅力発信事業

地域商社支援、マーケティング、販路拡大

課題

- 地元企業と進出企業との連携の希薄化
- 地域商社機能を持つ企業・団体が限られ、市全体としての事業効果が限定。

対応策

- あらたに立ち上がる地域商社を市が支援
- 地域商社、フードバレー推進協議会及びDMOやつしとの連携により相乗効果を発揮

地域商社事業



[進出企業]

株)SUPER MARKIT

劇団やタレントのグッズ制作、販売、デジタルマーケティング支援やファンサピスの企画、運営を手掛ける。特産品の販路開拓についても愛媛や新潟の支援実績あり。

[進出企業]

Future 'I' Mark(株)

京都、大阪、東京に拠点を置く企業で、マーケティング支援を得意とする企業で、WEBプラットフォーム開発やコールセンターも手掛ける。京都市で唯一、Google社からクラウドソーシングパートナーとして認定。

[地元企業]

株)SUNABACO

本社の所在地は八代市。株)SUPER MARKIT及びFuture 'I' Mark(株)の誘致に尽力し、両者をマネジメントできる能力と関係性を有する。

販路拡大・関係人口創出

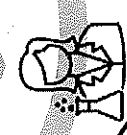


[団体] フードバレー推進協、DMOやつし



[行政] 八代市

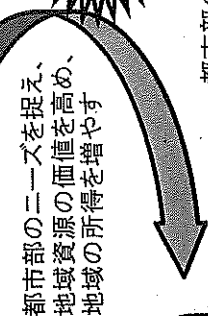
ハブとして、地域商社の商品開発に必要な関係者をつなぐ



マーケティングやプロモーションに加え、販売まで一貫して対応



ロケ弁当、茶屋弁当
宅配弁当

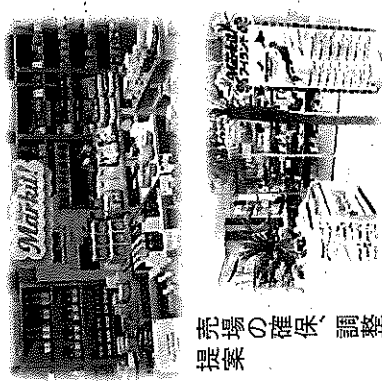
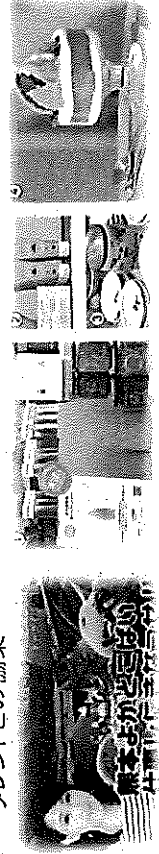


都市部のニーズを捉え、地域資源の価値を高め、地域の所得を増やす



都市部のニーズを踏まえた商品開発

タレントとの協業



売場の確保、調整
提案の確保、調整

会計業務の民間委託

～民間のノウハウを活かした行財政改革の推進～

本市では、行財政改革の一環として、「民間活力の活用」を推進しており、会計業務の民間委託についても検討を進めてきました。この度、委託に向けた準備が整ったことから、本年4月より、市の会計業務の一部を指定金融機関である株式会社 肥後銀行に委託するものです。

このことにより、民間のノウハウを活かし行財政改革の更なる推進を図ります。

1. 経緯

市では、これまで様々な分野で、業務の民間委託を推進してきており、会計業務についても、行財政改革の一環として、効率的かつ効果的な行政事務の執行を図るため、「民間活力の活用」を検討してきました。

この度、他自治体の事例なども参考としつつ、業務内容を精査し、委託の準備が整ったため業務委託を実施するものです。

なお、今回の委託予定事業者である株式会社 肥後銀行は、本市の指定金融機関であり、令和元年11月に締結した、「地方創生にかかる包括連携協定」に基づき、行財政改革の支援に関することをはじめ、人口減少社会に対応した持続可能なまちづくりの推進など、地方創生に寄与することを目的として、相互に連携・協力することとしています。

2. 見込まれる効果

市の会計業務の一部を委託することにより、会計業務に従事していた職員を来年度から順次削減し、他部署への配置転換を予定

3. 委託業者(予定)

株式会社 肥後銀行

4. 業務委託開始日(予定)

令和4年4月1日(金)

問合せ 会計課 担当:園田、宮本
TEL 0965-33-8100

会計業務の民間委託

1. 経緯

- ・市では、行財政改革の一環として、「民間活力の活用」を推進してきた
- ・会計業務についても、以前から検討を行ってきたところ
- ・この度、委託の準備が整ったため、市の会計業務の一部を委託するもの

2. 見込まれる効果

会計業務に従事していた職員を来年度から順次削減し、他部署への配置転換を予定

3. 委託業者(予定)

株式会社 肥後銀行

4. 業務委託開始日(予定)

令和4年4月1日(金)

イヤールウンドコースを開設します

～いつでも、誰でも、ウォーキングできるコースを開設します～

九州国際スリーデーマーチの開催地として八代市を知名度の向上を図るため、九州国際スリーデーマーチへ参加されるウォーカーに、大会開催日だけに八代に来てもらうばかりではなく、年間を通じて八代に来て歩いていただくため、市民の方々やウォーカーが年間を通じてウォーキングができるコースを開設します。

1. 目 的 八代市の知名度向上、参加者の健康増進、
集客することによる地域の活性化
2. 主 催 九州国際スリーデーマーチ実行委員会
3. 供用開始 令和4年4月1日より
4. 場 所 「道の駅 東陽」及び「ふれあいセンターいずみ」をウォーキングステーション(イヤールウンドコースの出発・到着地点となる場所)とした、約10kmのコース。
5. 対象者 国内外問わず誰でも参加可能
6. 内 容 完歩することにより、IVV(国際市民スポーツ連盟)及び美しい日本の歩きたくなるみち500選の認定が参加者に付与される。
7. 受 付
・「道の駅 東陽」及び「ふれあいセンターいずみ」にて受付する。
・参加費は原則1人につき200円

問合せ 八代市 イベント推進課 イベント推進係 担当:豊田・甲斐
TEL 0965-33-4132

イヤールラウンドコースを開設します

～いつでも、誰でも、ウォーキング～

開設の経緯

八代市は九州国際スリッパラリーの会場として、ウォーキング関係者からの認知度が高く、期間中は日本のみならず世界各地から多くの方に来ていただいている。

この認知度を活かし、自然に恵まれた八代を1年を通し歩いていただくことを目的に開設。

イヤールラウンドコースとは？

- ・国際市民スポーツ連盟（IWV）が実施するウォーキングコース。
- ・スタート・ゴール地点となるウォーキングステーションは、「道の駅東陽」 「ふれあいセンターいずみ」。

開設予定日

令和4年4月1日（金）

イヤーラウンドコースについて

(経緯)

九州国際スリーデーマーチ実行委員会事務局として、大会開催期間だけでなく、市民の方々や多くのウォーカーに、年間を通じて八代をウォーキングで楽しんでいただける方法がないか検討を重ね、歩いた距離・回数の認定が受けられるといったメリットのあるイヤーラウンドコースの開設に向け、国際市民スポーツ連盟（IVV）に申請し、このたび承認を受けたことから、令和4年4月より供用を開始するものです。

イヤーラウンドコース（通年ウォーキングコース）とは

- 国際市民スポーツ連盟（IVV）の通年ウォーキング規制に基づき、ウォーキング協会や関係団体などが協力して作成したコース。

※参加者は利用料（1コース/200円）を支払い、地図を受け取ってスタートする。ゴールすると、歩いた距離や回数が「パスポート」に記録される。

※県内1か所 全国約160か所

※今回のコース（案）では、氷川沿いを通ることから、「美しい日本の歩きたくなる道500選」の認定も可能となり、より多くのウォーカーの参加が見込むことができる。

ウォーキングステーションとは

- いつでも、誰でも、気軽に立ち寄ることができ、楽しく歩きながら「世界共通のパスポート&歩行記録認定」が受けられるウォーキングの駅で、国際市民スポーツ連盟（IVV）が認定したウォーキングコースである「イヤーラウンドコース」の出発・到着地点となる場所。

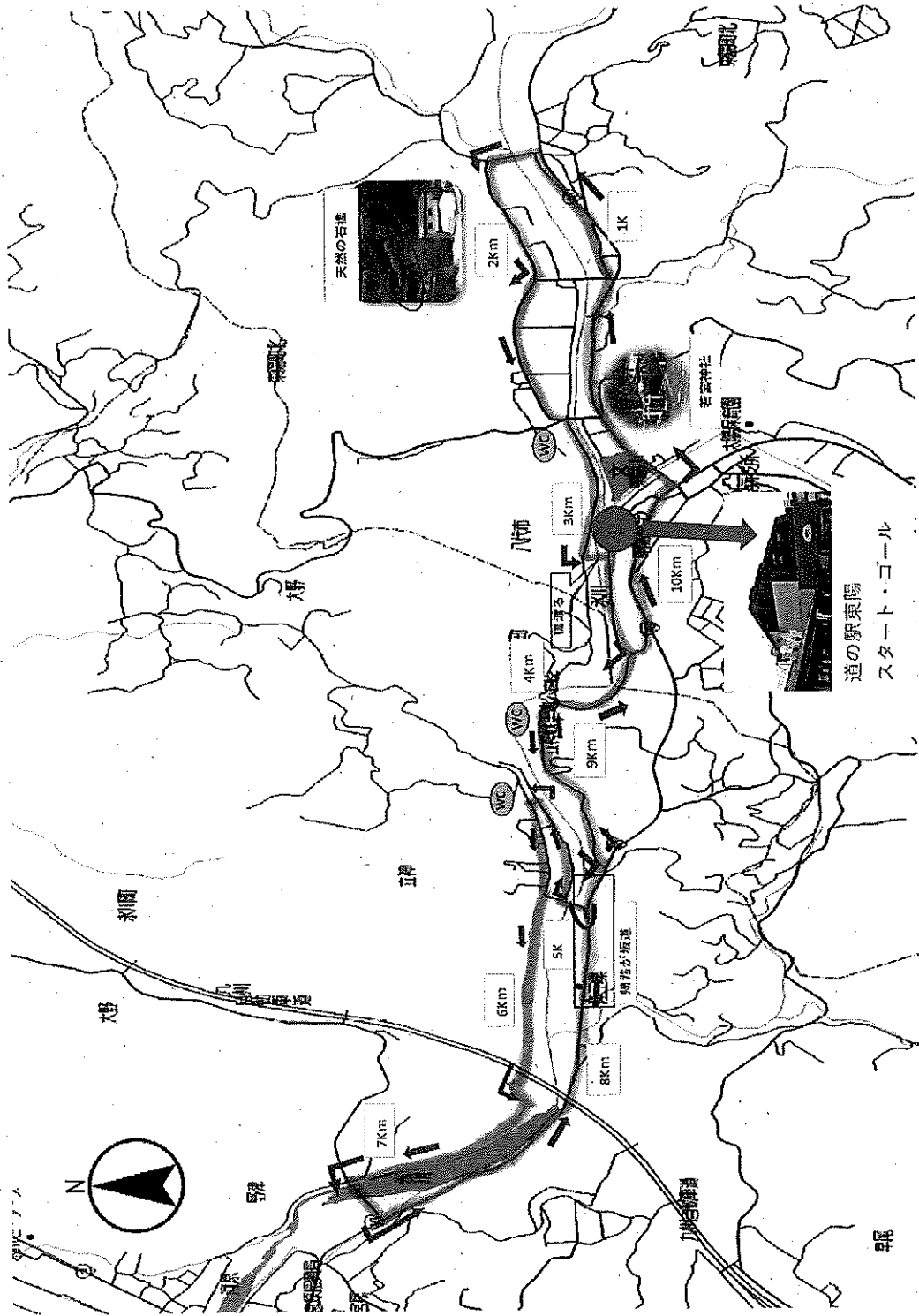
※「道の駅 東陽」と「ふれあいセンターいずみ」をウォーキングステーションとして運営するイヤーラウンドコースを設置。

IVVパスポートとは

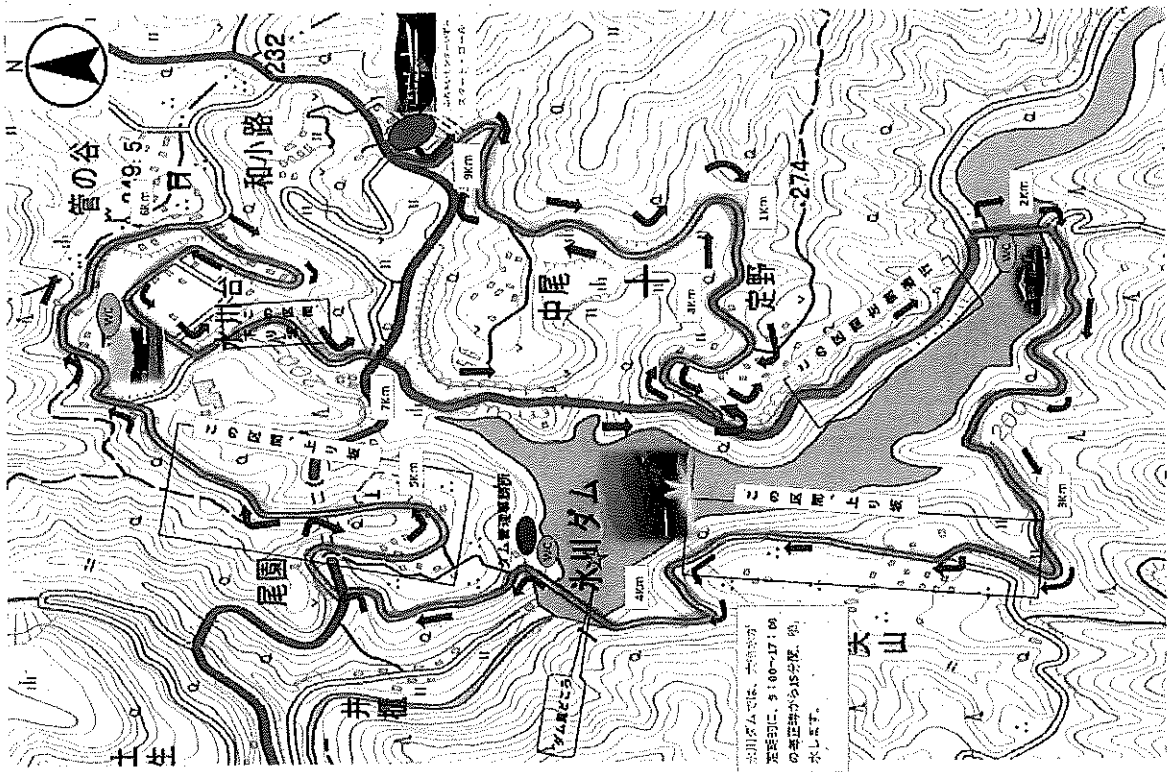
- 歩いた距離や回数などを、国際市民スポーツ連盟が認定する世界共通の歩行記録として記録しておくもの。10km以上のイヤーラウンドコースを完歩すると、距離及び回数の認定を受けることが可能。

※500選のパスポートについては、500選に指定された道の認定となる。

○東陽コース



○泉コース



新型コロナウイルスワクチン接種

【3回目接種】

全ての対象者(18歳以上)について、2回目接種から6か月経過後の接種が可能です。
接種券は2回目接種から6か月経過される対象者に随時発送します。

個別接種 市内85の医療機関で実施。

予約方法 医療機関の情報を市のホームページまたは八代市ワクチン接種コールセンターで確認し、希望の医療機関に予約

集団接種 市内住民を対象に実施中(予約受付中)

実施期間 3月16日(水)～4月6日(水) ※土日祝日を除く平日15日間

会場 エコエイトやつしろ(八代市環境センター)

予約方法 ワクチン接種コールセンターへ電話またはネットで予約

使用ワクチン 武田/モデルナ社ワクチン

八代市ワクチン接種コールセンター TEL 0965-30-7500

【小児接種(5歳～11歳)】

3月20日から小児接種の集団接種を実施します。(第1次日程予約は終了)
4月後半の集団接種並びに医療機関での個別接種についても関係機関と協議を行っています。
日程決定後、対象者へハガキで案内予定です。

【市全体の接種状況】 3月25日現在

	八代市	全国	熊本県
1回目接種者数	101,912 人 (81.22%)	(75.55%)	(74.75%)
2回目接種者数	101,376 人 (80.80%)	(74.78%)	(74.14%)
3回目接種者数	45,383 人 (36.17%)	(37.33%)	(42.33%)

総人口 125,470 人(令和3年1月1日)

問合せ 八代市健康推進課新型コロナウイルスワクチン接種対策室
担当:森田 TEL 0965-30-7501

4月1日から市役所の組織が変わります

新たな行政課題や市民ニーズに対応するとともに、効率的かつ効果的な組織とするため、令和4年4月1日付けで市の組織の一部を変更します。

【課の再編】

①環境施設課の新設

し尿処理施設や火葬場等の環境関連施設の迅速な整備及び適切な維持管理を行うため、環境関連施設の整備等の経験・ノウハウを持つ技術職員を集約・一元化し、「環境施設課」を設置します。

②介護保険課、高齢者支援課の新設

人生100年時代における健康寿命の延伸と生きがいつくりの推進のため、長寿支援課を分割し、介護保険に特化した「介護保険課」、その他の高齢者支援施策を集約して担う「高齢者支援課」を設置します。

③復興整備課の新設

坂本町の創造的復興を加速化するため、建設部に、坂本支所及び周辺のインフラ整備、地域ごとのまちづくり計画に基づく住まいの確保を実施する「復興整備課」を設置します。

【係の再編】

④危機管理課の係再編

あらゆる災害に強く安心できる強靱なまちづくりの推進のため、危機管理課を「危機管理係」「防災係」「消防係」の3係体制に再編し、危機管理・防災体制を強化します。

⑤こども家庭総合支援係の新設

安心して子どもを産み育てることができるまちづくりを推進するため、年々増加する児童虐待や要支援児童等への対応を担う子ども家庭総合支援拠点として、こども未来課に「こども家庭総合支援係」を設置します。

⑥こども保健係、妊産婦保健係の新設

安心して子どもを産み育てることができるまちづくりを推進するため、健康推進課に「こども保健係」、「妊産婦保健係」を設置し、母子保健支援体制を強化します。

⑦スポーツ振興課の係再編

スポーツ振興課を再編し、スポーツコミッションを核としたスポーツ大会・合宿の誘致及びスポーツの振興を担う「スポーツプロモーション係」、スポーツ施設の整備・管理を担う「管理係」の2係体制とします。

⑧ICT教育推進係の新設

「ICT教育日本一」の実現に向け、早期に「学校情報化優良校100%」を達成し、タブレットを活用した効果的な授業が行われるよう、学校に対する支援、機器の管理等を効率的・効果的に実施するため、ICT教育のワンストップ支援窓口として、教育政策課に「ICT教育推進係」を設置します。

八代市組織機構図

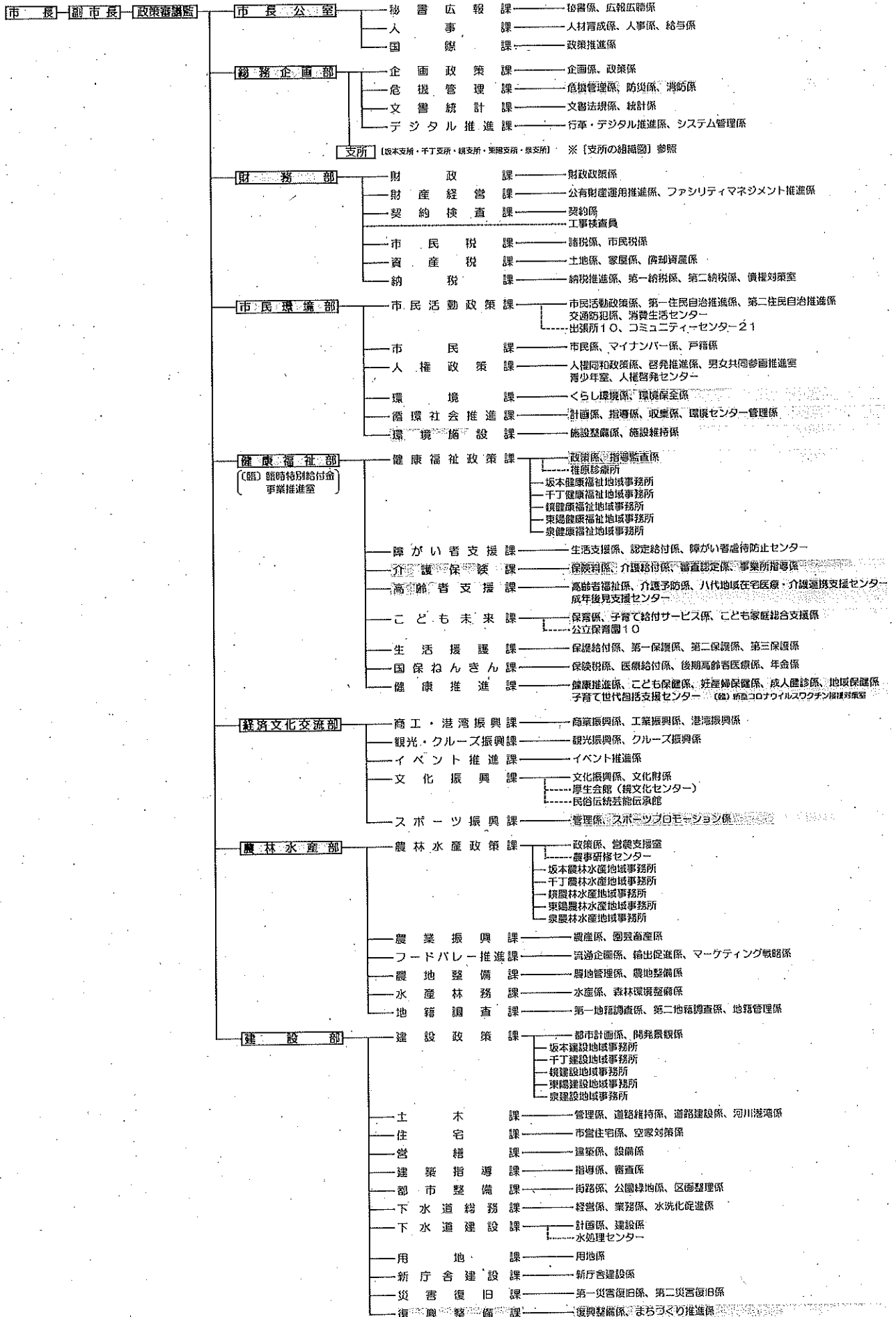
9部

67課

15地域事務所

168係

(令和4年4月1日現在)



八代市組織機構図

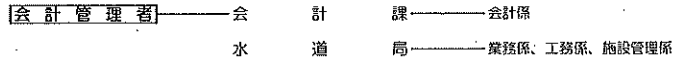
9部

67課

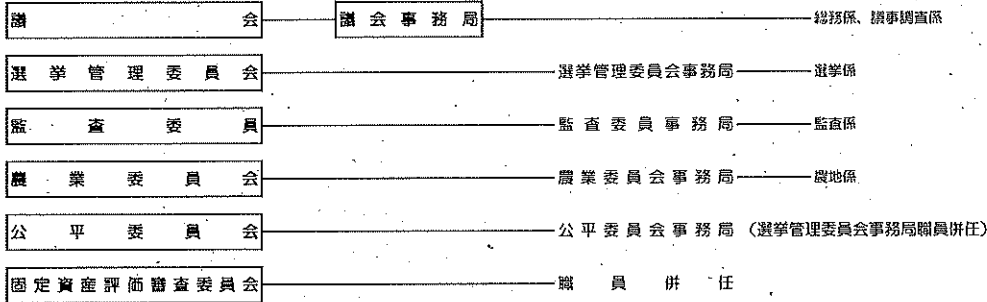
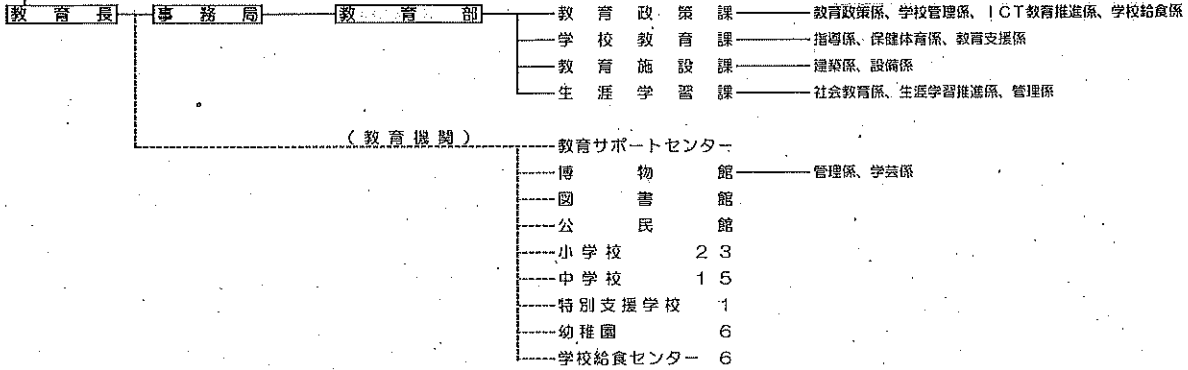
15地域事務所

168係

(令和4年4月1日現在)

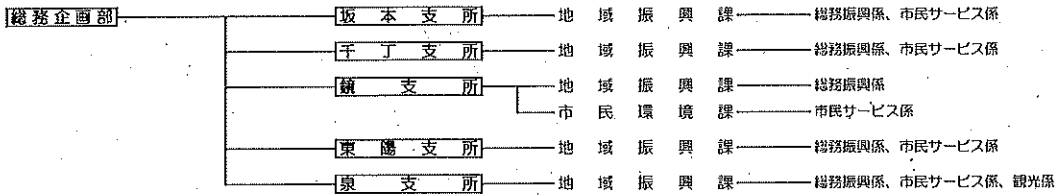


教育委員会



※

支所の組織



市立博物館 令和4年度春季特別展覧会

～妖怪、幽霊、鬼、地獄など、“こわいもの”が大集合！～

当館では、毎年春に各地の美術館・博物館が所蔵する魅力あるコレクションによる特別展を開催しています。今回は、昨今ゲームやアニメで関心の高まっている妖怪や鬼などの“こわいもの”をキーワードに、福岡市博物館、熊本県立美術館、松井文庫所蔵のコレクションから、「妖怪」「幽霊」「鬼」「地獄」にまつわる作品を集め、一堂に紹介します。大集合した“こわいもの”から、人間の営みとともに想像・創造され、畏れられたり、崇められたり、そして楽しまれた魅力あふれる妖(あやかし)の世界をお楽しみいただければ幸いです。

1. 展覧会名称 令和4年度春季特別展覧会
「こわいもの大集合！～妖怪・幽霊・鬼・地獄～」
 2. 会期 令和4年4月22日(金)～6月5日(日)
 3. 会場 八代市立博物館未来の森ミュージアム特別展示室・第二常設展示室
(八代市西松江城町12番35号 0965-34-5555)
 4. 主催 八代市立博物館未来の森ミュージアム・八代市
 5. 特別協力 福岡市博物館、一般財団法人松井文庫
 6. 内容
 - ・福岡市博物館所蔵「付喪神図」(伊藤若冲、18世紀)、「相馬の古内裏」(歌川国芳、弘化年間)、「幽霊図」(河鍋暁斎、明治3年)など12点
 - ・熊本県立美術館所蔵「地獄図巻」(耳鳥斎、寛政5年)、「鍾馗図」(歌川国芳、江戸時代後期)など3点
 - ・一般財団法人松井文庫所蔵「百鬼夜行図巻」(尾田郷澄、天保3年)、「化物婚礼絵巻」(岡義訓、文久3年)、能面など16点
- ・出品作品数31点

※詳細は別紙ちらし参照

問合せ 八代市立博物館 学芸係 担当:山崎・宮原
TEL 0965-34-5555

相馬の古内裏(部分)
諏川国芳
福岡市博物館所蔵

百鬼夜行図巻(部分)
尾田郷澄
松井文庫所蔵

令和4年度春季特別展覧会

怖いもの大集合!

～妖怪・幽霊・鬼・地獄～



墓場の幽霊図(部分)
祇園井持
福岡市博物館所蔵



たすけて～

地獄図巻(部分)
耳鳥齋
熊本県立美術館所蔵



みんなも
おいで～



和漢百物語
貞信公(部分)
月岡芳年
福岡市博物館所蔵

2022年
4月22日(金)～6月5日(日)

- 開館時間 9時～17時(ただし入館は16時30分まで)
- 休館日 毎週月曜日
- 観覧料 一般 700円(560円) 高大生 500円(400円)
※中学生以下、障がい者手帳などをご提示の方は無料
※()内は20名以上の団体料金
※5月5日(木)祝こどもの日は無料開館
- 主催 八代市立博物館未来の森ミュージアム・八代市
- 特別協力 福岡市博物館・一般財団法人松井文庫
- 協賛 八代市立博物館友の会

特別講演会 博物館講義室にて

①4月23日(土) 14時～15時30分
演題:妖怪画・幽霊画の魅力
講師:宮原 江梨(本館学芸員)

②5月 7日(土) 14時～15時30分
演題:「熊本の妖怪」百年史
講師:鈴木 寛之氏(熊本大学文学部准教授)

※いずれも電話による事前申込が必要です。
4月4日(月)9時～受付開始。定員30名に達し次第締切。
問合せ:八代市立博物館(0965-34-5555)

聴講
無料



八代市立博物館未来の森ミュージアム

〒866-0863 熊本県八代市西松江城町12-35 TEL0965-34-5555 FAX0965-33-9200 博物館ホームページ <http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/museum/>

新型コロナウイルス感染防止対策を講じたくて実施します。ご来館の際は、マスク着用・ヘルスチェックシートへの記入など感染防止対策にご協力ください。入館人数が上限に達した場合は、入場を制限することがあります。博物館の最新情報はこちらをごらんください。

背すじぞくぞく!?

こわいもの ワールド

古くから人は、自分たちに降りかかる災厄や不思議な現象を何者かのせいにする事で、目に見えない恐怖や不安を説明しようとしてきました。そうして生み出されたものが、妖怪や幽霊といった異界のものたちです。本展覧会では、“こわいもの”をキーワードに、「妖怪」、「幽霊」、「鬼」、「地獄」にまつわる作品を一堂に紹介します。博物館に大集合した様々な“こわいもの”から、人間の営みとともに想像・創造され、畏れられたり、崇められたり、そして楽しまれた、魅力あふれる妖の^{あやし}世界をご堪能ください。



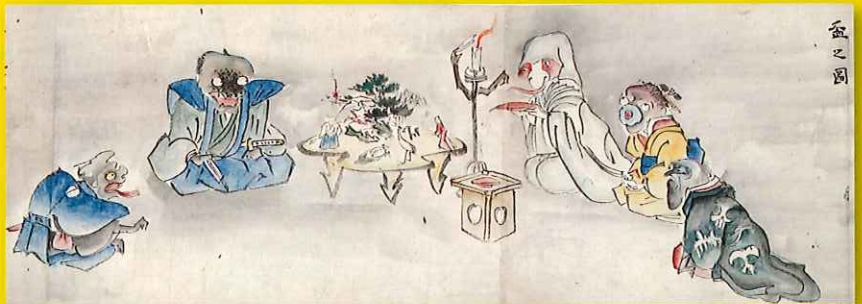
百怪図巻(部分) 佐脇嵩之 元文2年(1737) 福岡市博物館所蔵 ※会期中展示替えを行います



幽霊図 駒井源琦 18世紀 福岡市博物館所蔵



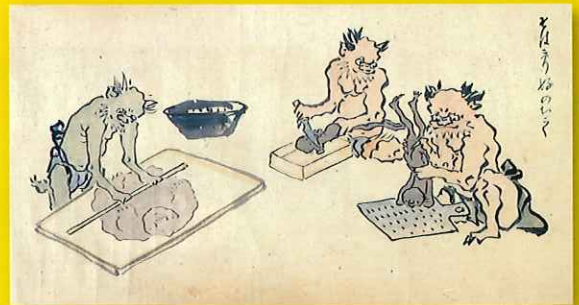
付喪神図 伊藤若冲 18世紀 福岡市博物館所蔵



化物婚禮絵巻(部分) 岡義訓 文久3年(1863) 松井文庫所蔵 ※会期中展示替えを行います



能面 般若 児玉近江満昌作 17~18世紀 松井文庫所蔵



地獄図巻(部分) 耳鳥斎 寛政5年(1793) 熊本県立美術館所蔵 ※会期中展示替えを行います

特別講演会 | 博物館講義室にて

聴講
無料

- ①4月23日(土) 14時~15時30分
演題:妖怪画・幽霊画の魅力
講師:宮原 江梨(本館学芸員)
- ②5月 7日(土) 14時~15時30分
演題:「熊本の妖怪」百年史
講師:鈴木 寛之氏(熊本大学文学部准教授)

※いずれも電話による
事前申込が必要です。
4月4日(月)9時~受付開始。
定員30名に達し次第締切。
問合せ:八代市立博物館
(0965-34-5555)

[交通のご案内]

- JR** 鹿児島本線・肥薩おれんじ鉄道八代駅下車3km
九州新幹線新八代駅下車6km
- バス** 八代駅・新八代駅西口から「検察庁・法務局・市博物館前」
「北荒神町福祉センター前」J八代市役所前いずれかのバス停下車
- 車** 八代I.Cから八代港線に入り、田中西町交差点を左折(南下)
松浜軒前交差点を右折すく ※大型バス4台、普通車40台駐車可



八代市立博物館未来の森ミュージアム

〒866-0863 熊本県八代市西松江城町12-35 TEL0965-34-5555・FAX0965-33-9200
博物館ホームページ <http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/museum/>